

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会（第24期・第2回）議事録

1. 日時：平成30年2月28日（水）10：00～12：00
2. 場所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室
3. 出席者：岸本健雄（委員長）、深津武馬（幹事）、倉谷滋、小路武彦、斎藤成也、西弘嗣、西田宏記
欠席者：寺北明久（副委員長）、大隅典子、武田洋幸
4. 議事：
 - （1）前回分科会（第24期第1回、平成29年11月4日開催）は暫定分科会であったため、そこで選出された分科会役員（岸本委員長、寺北副委員長、深津幹事）をあらためて確認した。
 - （2）前回分科会の議事録（案）を承認した。
 - （3）前回分科会当日の午後に開催した日本学術会議公開シンポジウム「国立自然史博物館の設立を目指して～ネットワーク型博物館がめざす地域との連携～」について、「シンポジウム等の概要について（事後報告）」を参照して報告した。
 - （4）前期（第23期）分科会からの申し送り事項（下記の三点）を、前期最後の分科会（第12回、平成29年9月11日開催）議事録を参照して確認した。
 - 1）基礎動物学の振興をはかるシンボルとして、「国立沖縄自然史博物館設立準備委員会」との連携を推し進める。
 - 2）生物科学学会連合との連携を維持する。
 - 3）ポテンシャルのある若手、高校生をすくいあげる方策を検討する。
 - （5）提言「国立自然史博物館設立の必要性」（前期に公表）のフォローアップ
今期からの新委員と継続委員との間で情報を共有するために、本提言作成の背景から、一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会による現在の活動状況まで、設立活動の経緯について資料を用いて報告した。
 - （6）第24期の活動方針
前期は「国立自然史博物館設立の必要性」に集中して活動したが、今期はそれを継承しつつも、本分科会としての新たな課題を挙げて活動を開始するべきとの認識のもと、本分科会の今後の方向性について意見交換した。